



「遠い道と向日葵」2018年

声を探る

— 首藤晃良の蒐集と絵画 —

ささしえぬ

2021年3月23日[火] — 28日[日]

開館時間：午前10時～午後7時（入場は閉館の30分前まで）

※26・27日は午後8時まで、最終日は午後4時まで

大分県立美術館 1階展示場 A 入場無料

主 催・『首藤晃良作品展』実行委員会 協 賛・公益財団法人横萬育英財団

後 援・大分県、大分市、大分県教育委員会、公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団、大分商工会議所、大分経済同友会、イオン九州、大分合同新聞社、日本経済新聞社大分支局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、エフエム大分、J:COM大分ケーブルテレコム、大分銀行、大分市内9ロータリークラブ、国際ソロプチミスト大分／大分-みどり／大分-府内、大分市内6ライオンズクラブ

問い合わせ先・『首藤晃良作品展』実行委員会事務局 TEL: 097-537-1200 FAX: 097-536-2000

本展は大分出身の実業家、首藤晃良の約40年にわたる画業と蒐集した美術品を展覧するものです。首藤の絵画作品は、自身のコレクションである古美術のある空間を描いた作品や、人生の悲喜劇を演じるピエロを描いた創造力あふれる作品、そして家族との時間を記録する肖像画など多岐にわたります。本展ではそれらをテーマごとにまとめ、作品のモチーフにもなっている古美術や書画を絵とあわせて展示することで、幅広い観客に向けたものになっています。無名のつくり手たちが生み出した古美術には、陶工や匠たちの無意識にある厳しきや大らかさがひそんでいます。それらの「聞こえぬ声」を掬う首藤の感性もまた、美術家ではない絵描きならではの無欲さを持ち、独自の世界を展開しています。企業経営の道で生きてきた作者の半生を費やした蒐集と絵画を、この機会にぜひお楽しみください。

首藤晃良の蒐集と絵画

聞こえぬ声を探ろう

き

起、軌跡

作者・首藤晃良の波乱万丈の人生の履歴と本展開催の趣旨

こ

古美術

絵画とそのモチーフ。作者の筆と古美術との響きあう関係

え

絵を描く場

制作の際に用いてきた筆や机などで画家のアトリエを再現

ぬ

ヌードとピエロ

作者の大きなモチーフとなっている裸婦とピエロの作品群

こ

個、子、恋

最も身近な画題としての家族。ともに過ごしてきた時の記録

え

絵に会う

長年にわたって蒐集してきたコレクションの絵画や書、仏画



羯鼓胴
奈良時代



李朝白磁 立壺
李朝時代中期



加彩 官人立俑
六朝時代



首藤晃良「薔薇と金剛佛」
2019年



首藤晃良「ヌードダンサーとピエロの観客」
2019年



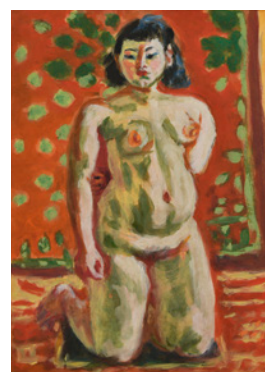
首藤晃良「スカーフを巻いた婦人」
2019年



ベルナルド・ブッフエ「婦人の顔」
1949年



鴨居玲「スペインの女」
1968年



梅原龍三郎「裸婦図」
1939年

イベント

首藤康之（パレエダンサー）トークイベント
—父、家族、舞踊 そして故郷—

3月23日（火）、3月25日（木）予定

展示会場内特設会場にて開催

事前申し込み制／会場の都合により申し込み多数の場合は先着順となります。詳細はWEBをご確認ください。

<https://www.kikoenukoe.com>



OpAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036
大分県大分市寿町2番1号 Tel:097-533-4500 Fax:097-533-4567
JR大分駅府内中央口（北口）から徒歩15分／大分ICから車で10分
<https://www.opam.jp>

- 首藤晃良 略歴
- 1938年 大分市に長男として生まれる
- 1961年 九州大学経済学部卒業
- 1962年 家業の合資会社横萬商店専務就任
- 1967年 岩崎恭子と結婚
- 1967年 長男、公輔誕生（建築家）
- 1971年 次男、康之誕生（パレエダンサー）
- 1982年 横萬家庭機器設立、ホームセンター開業
- 1985年 横萬家庭機器をホームワイドに社名変更
- 1992年 ホームワイド 福岡証券取引所株式上場
公益財団法人 横萬育英財団設立 理事長就任
- 1994年 ホームワイド 大阪証券取引所株式上場
- 1996年 57歳にて現役引退
- 1997年 夫婦で米国永住権取得、米国へ移住
- 2002年 米国永住権自主返還、東京に居住、現在に至る